

1. 件名：「大間原子力発電所の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（119）」

2. 日時：令和4年3月3日（木）13時30分～15時20分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：岩田安全管理調査官、三井上席安全審査官、中村主任安全審査官、永井主任安全審査官、大井安全審査専門職、松末技術参与

電源開発株式会社※ 原子力事業本部 原子力技術部 部長 他13名

※テレビ会議システムによる出席

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・大間原子力発電所 審査会合における指摘事項について（地震・津波関係）
- ・大間原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答 その14）
- ・大間原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答 その14）（補足説明資料）
- ・大間原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答 その14）（6/25 審査会合資料からの変更点リスト）
- ・敷地の地質・地質構造（コメント回答 その14）ヒアリング資料の誤りについて

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	はい規制庁の方でそれで今からヒアリング開始いたしますのでまずは資料の説明からお願いします。
0:00:12	はい。電源開発原子力技術部の高岡でございます。本日は、敷地の地質地質構造のうち、CAMS11、現状のコメント回答についてご説明いたします。
0:00:25	昨年12月8日のヒアリング時の確認事項を受けての資料修正をいたしました。
0:00:31	3回目のヒアリングとなりますので、是非とも早期の審査会合での審議をお願いいたします。よろしくお願いいたします。
0:00:39	まず資料の確認をさせていただきたいと思えます。
0:00:43	本日も用意した資料は、メインの審議資料として、右上にCa150758と書いた、ビジョンIIIのもの。
0:00:53	それから、規制庁さんのお手元のものに番号がついてるかってのはあるんですけど、Ca166167という。
0:01:01	シオノギの関係等変更点の資料。
0:01:05	それからコメントリストでございます。
0:01:08	コメントリストについては前回2月7日のヒアリング等、変更ございませんので、ご説明は割愛させていただきます。
0:01:18	それで、まず1点ですね、資料のご説明先立ち一点お詫び等、前回資料からの連続性の観点で、主な変更点について私から
0:01:30	触れたいと思えます。
0:01:31	まず、
0:01:33	C167という、資料の誤りについてという、A4横の資料をご覧ください。
0:01:43	これ12月8日にご説明したヒアリング資料のうち、
0:01:48	風化性状に基づく、
0:01:50	岩盤性状の図表において、一部誤りがございました。大変申し訳ございません。
0:01:57	それで誤りの内容ですけれども、
0:02:01	表として①から④とございますが、
0:02:04	①っていうのは、バン会社火山礫凝灰岩以外の、
0:02:09	段丘堆積物等のデータを、余分にプロットしてしまったものです。
0:02:14	それから02というのが、CMS11の分布深さを示す。
0:02:19	赤いラインの図があるんですけど、図の位置がずれてしまったというものです。ちょっと1例を。
0:02:26	お話しますと、
0:02:27	2枚ほどめくって3ページ4ページご覧ください。
0:02:34	それで3ページがですね、赤い枠で囲ってあるところが誤りで、4ページの方へ、青い枠で囲ってあるのが正しい内容でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:45	まず、01と言いました短海食火山礫凝灰岩以外のプロットというのが、
0:02:52	今ご覧いただいてる、図の左側の二つの図ですね、地表付近のところに、
0:02:58	一つ二つ余分なプロットをしてしまったというもの。
0:03:02	それから、cms1の分布深さがずれていたというのはちょうど中央付近にございまして、
0:03:09	ケース11、これをフラットで標高合わせて示してあるんですけども。
0:03:14	そこに
0:03:16	重ねる図が、
0:03:17	標高がちょっとずれてしまっていたという点でございます。
0:03:22	以下同様のものはちょっと割愛させていただいて、
0:03:26	それから、表のページで、③番ですね、表示すべきプロットが、逆に数点漏れてしまっていたものがございまして、
0:03:34	ページで言うと23ページ4ページご覧ください。
0:03:42	これはボーリングコア写真を右側に柱状図で、さらにあり貫入勾配等のデータをプロットしたところでございますけども。
0:03:52	これ23ページ赤丸のところの一部空欄になってますが、24ページの方にそこを重点埋めた形で示してございます。
0:04:02	このようなもの、最後に④番として、
0:04:05	これに伴って統計処理にも波及したもので、
0:04:09	これは29ページ30ページをご覧ください。
0:04:18	これは岩盤性状の統計処理をしたところなんですけれども、
0:04:24	上の、
0:04:25	ページですね、29ページの、
0:04:30	表がございまして。強風化部のデータ数、それから平均標準偏差とございまして、30ページ、同様のところをご覧くださいと、データ数が一つ二つ。
0:04:41	しております。
0:04:43	このようなところがですね、
0:04:46	前のデータ、さきにご説明したデータに伴って、
0:04:51	変わってきたという、そういった内容でございます。
0:04:55	それで、これは生データ自体には今まではございませんでしたが、パソコンを用いたデータ整理分析の過程で、
0:05:04	こういったものが生じてございます。それで主な原因としては2点ほどで、
0:05:09	データ分析整理。
0:05:11	する際の目的、意図がですね、弊社からコンサル会社に正しく伝わらずにいたということ。
0:05:18	さらに、パソコン上で、データ整理分析する際に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:23	第三者がチェックできるようなファイル形式となっていなかったことによります、
0:05:28	このため再発防止策といたしまして、協力コンサル会社、弊社ともにチェックできる体制をですね、改めて、
0:05:38	工事でございます。
0:05:39	今後はこういった誤りが生じないように、取り組む所存でございますので、
0:05:45	本当に申し訳ございませんでした。
0:05:49	続いて、
0:05:51	市営 166、
0:05:53	ですね、
0:05:55	前回の、
0:05:57	審査会合からの変更点の、
0:06:01	概要でございます。
0:06:05	今画面に出ている、
0:06:08	黄色の丸一番、グリーンの②番とかございますここでお話ししますけど。
0:06:13	まず、①番が主な変更点の一つが、解釈別記 1 に照らした評価ということで、
0:06:20	重要施設、基礎地盤側面に応答する CMS11 棟。
0:06:25	地表付近の一部の変状を分けて扱って、改めて評価対象 cms11 といたしまして、
0:06:33	さらにワーディングも、
0:06:36	含めて整理し直してございます。
0:06:40	それから、あわせて②番ですね、CMS11 の分布でございますけども、3 次元的分布がわかるような断面図を、
0:06:50	ページで赤色で記載してあるような、3 の 280。
0:06:54	208 ページから 200 人、12 ページ等ですね、追加してございます。これ資料で後程ご説明いたします。
0:07:02	それからさらには、③番ですね、変量の成因に関わる文献を、事例を充実させたこと。
0:07:11	ページについては赤色のページです。
0:07:14	④番、岩盤性状の分析に用いた四つの指標の最優採用利用理由。
0:07:20	事例ですね、そういったものを、
0:07:22	赤色のページで補強してございます。
0:07:26	また、
0:07:27	資料には記載ございませんけど、石渡の審査会合のコメントでございます。原料が分布しない位置でのですね、体積変化高潮のあるなしですとか、
0:07:38	強風化部の出野薄片の観察結果を追加して示してございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:44	本日はこういった内容についてですね。
0:07:48	要点ポイントを、さらに全体の流れがわかるように、こうですねということですので、
0:07:54	担当の西尾主任から、引き続きご説明いたします。
0:08:03	はい。電源開発西尾です。よろしくお願いします。
0:08:07	では本編資料のローマ数字 1 ページをご覧ください。
0:08:12	こちらが指摘事項となっております、表に示しております、指摘事項についての回答を中心にご説明いたします。
0:08:21	ローマ数字 2 ページをご覧ください。
0:08:24	テラはコメント回答の経緯となっておりますこちらに関しましては前回ヒアリングの説明から、変更ございませんので割愛いたします。
0:08:33	続いてローマ数字 3 ページが本資料の説明骨子としまして、下線部に示しております、大きく三つのパートで構成されております。
0:08:43	本日のご説明のメインとなりますのは一番下の下線、第 3 条対象のシームの評価。
0:08:49	ですが、本編資料の説明に入る前に、最初に、チーム全体での説明骨子、
0:08:56	ご説明させていただきます。
0:08:58	シームの調査及び評価方針としましては、
0:09:03	チームはサイリュウ凝灰岩に狭在する粘土質の薄層であり、
0:09:07	地層に平行に分布し、
0:09:09	性状に類似性が認められます。
0:09:11	表付近の S 1011 には、一部の箇所、後期更新世に生じた変状が認められます。
0:09:19	代表チームである S 10 は、断層との切断関係から、後期更新世以降の活動がないと判断されるものの、
0:09:26	天井が一部の範囲で限定的に認められます。
0:09:30	しかし、シームを含む易間層や大間層は盆状に分布し、地下深部には連続しないことから、シームは震源断層ではございません。
0:09:39	チームの評価は、重要施設との位置関係から、第三条第 4 条対象とに分けて行います。
0:09:46	まず、第 4 条対象のシームの評価ですが、こちらは、シーム S 1 から 10、S O M が該当しまして、代表シームとして S 10 が選定されます。
0:09:58	この S 10 は、地表付近では変状が一部の範囲で限定的に認められるものの、深部は断層との切断関係から、後期更新世以降の活動がないこと等から、
0:10:08	震源として考慮する活断層ではございません。
0:10:11	ここまでのパートに関しましては、前回ヒアリングから説明内容と変更はございません。
0:10:17	次に、第 3 条対象のシームの評価です。こちらがメインになるところですが、この第三条対象シームは、S 11 のみが該当します。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:26	S11はc f 3断層との切断関係より、後期更新世以降の活動はないと判断されることから、
0:10:33	将来活動する可能性のある断層等に該当しません。
0:10:38	また、S11の地表付近の強風化部の一部に認められる変状は、
0:10:43	後期更新世に形成されたものであり、
0:10:45	C F 3断層に切断された箇所深のS11とは別の時期に形成されたものである。
0:10:52	と判断され、分布範囲の検討及び岩盤性状の分析から、
0:10:57	現状は重要施設の基礎地盤には分布しません。
0:11:00	なお、変状の成因は、断層活動とは別の、
0:11:04	地震動による児童変岩盤の風化による体積変化等の、ノンテクトニックな要因で形成された非構造性のものと判断されます。
0:11:15	続いてローマ数字4ページが目次となっております。赤枠で示している場所部分が本資料に掲載しているページでして、
0:11:24	本日まで説明いたします、S11の評価につきましては青枠で示しているところ、こちらにフォーカスを当てて、本日まで説明させていただきます。
0:11:33	続いて(1)ページをご覧ください。
0:11:36	ここからの括弧付きのページでは、本編の具体的な説明に入る前に、御説明のメインとなるS11の全体像。
0:11:46	を掴んでいただきますように、本日の説明要旨としまして、(7)ページまで。
0:11:52	まとめております。
0:11:53	まず最初に、どのような方針でS11を評価していくかというのを、御説明の流れに沿って示しているのがホームページ。
0:12:01	チームS11の評価方針です。
0:12:04	ページ中央のフローで示しております通り、最初に①S11について、変位基準に基づき、後期更新世以降の活動性を評価します。
0:12:15	次に②としまして、ここでS11の地表付近に認められる変状については、現状の形成時期、分布、成因等を検討します。
0:12:24	これら①②を踏まえまして、評価対象を明確にした上で、③重要施設の基礎地盤に露頭するS11について、分布岩盤性状等から、
0:12:35	後期更新世以降の活動性を評価します。
0:12:38	そして最後に④S11が、将来活動する可能性のある断層等に該当するかどうかの、第三条の基準適合性を評価します。
0:12:48	次に括弧2ページをご覧ください。
0:12:52	こちらがシーム、CMS11の御説明用紙。
0:12:56	です。
0:12:56	こちらは五つのパートに分けてご説明しております、それぞれのパートで説明したいことをこのページに整理しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:04	文章で記載の通りとなっているんですけど、ここは重要なところと考えておりますので、全体を理解していただくためにちょっとこのページでご説明させていただきます。
0:13:16	最初にC M S 11の基準適合性の評価方針としましては、
0:13:20	S 11、
0:13:22	が、地表付近で、変状が認められることから、今回、評価対象を明確にした上で、S 11の基準適合性を、S 11が将来活動する可能性のある断層等に該当するか否かにより評価します。
0:13:37	次に、S 11の評価としましては、三つポツ書いてます。地層に平行で盆状に分布し、地下深部に続かないことから震源断層でない。
0:13:46	層厚が薄く、断続的に分布することから、少なくともC M全体が動くような断層ではない。
0:13:52	後期更新世以降の活動がない、C F 3断層に切断されており、変位センズの検討からも後期更新世以降の活動はないと判断される。
0:14:02	続いて、S 11の地表付近に認められる変状の検討です。
0:14:07	地表付近での一部で変状が認められることから、現状の形成時期、分布、成因等を検討します。
0:14:16	天井は後期更新世に形成されたものであり、C F 3断層に切断された箇所以深のC M S 11とは別の時期に形成されたものであると判断されます。
0:14:27	天井の形成に関与したS 11の最新面P S 1、
0:14:31	こちらは地表付近の強風化部の一部に限定され、
0:14:35	天井の分布を保守的に設定した範囲は、重要施設の基礎地盤に分布しません。
0:14:40	よって、
0:14:41	現状は、C F 3断層切断心のS 11とは、形成時期が異なり、
0:14:46	天井の部分と保守的に設定した範囲は重要施設の基礎地盤に分布しないため、
0:14:51	現状は、断層活動とは関連せず、
0:14:54	重要施設の基礎地盤に露頭するS 11の評価とは切り離し、第三条の評価対象とはしません。
0:15:01	なお、変状の成因は、断層活動とは別の、ノンテクトニックな要因で形成された非構造的のものと判断されます。
0:15:10	続いて重要施設の基礎地盤に分布するS 11の評価ですが、
0:15:14	地質観察及び岩盤性状の分析によると、重要施設の基礎地盤に分布するS 11付近の岩盤は、新鮮部、または一部で弱風化部の性状を示し、
0:15:25	天井が分布するか、変状が分布する箇所の強風化部の性状を示すものではないため、
0:15:31	天井が形成される岩盤正常ではないと判断されます。
0:15:35	S 11の分布等から、重要施設基礎地盤に露頭するS 11は、
0:15:40	C 3断層切断以深のS 11が連続して分布しており、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:45	後期更新世以降の活動はないと判断されます。
0:15:48	そして最後 S 11 の基準適合性の評価です。
0:15:52	断層との切断関係より後期更新世以降の活動はないと判断されることから、
0:15:57	将来活動する可能性のある断層等に該当しない。
0:16:00	このようなことを、後でご説明させていただきます。(3) ページが、
0:16:05	この説明要旨の流れと資料構成をフローで示しているものになります。
0:16:11	前回ヒアリングから、資料構成、流れ等は変更ございません。
0:16:16	続いて (4) ページをご覧ください。
0:16:21	こちらが、見せ方を少し工夫しまして、言いたいこと、あの時、事業者の主張を、1 枚のページに集約してお示したものになっております。
0:16:32	図の左側にあります図 1 c m s 11 の分布図をご覧ください。
0:16:37	こちらに図中に、
0:16:39	図の下の方に濃い緑丸で、C F 3 断層切断箇所付近へと T F 5 A トレンチをマルつけております。
0:16:47	で、もう一つ、図の中央の方に、青井青野大きな丸で重要施設付近。
0:16:54	にも丸をつけております。
0:16:55	この緑の丸から青の丸に通る断面 1' 1 断面が、ページ、右下にあります図 3 となっております。T F 5 トレンチから、
0:17:06	重要施設付近を示した断面でして、
0:17:10	こちらで断層から切られた地震のシームの連続性というのを得るようにつけております。
0:17:17	で、まず、図 1 の緑丸の部分、T F 5 トレンチについて、図 2 にスケッチを、
0:17:24	掲載してあります。こちら見ていただきますと、S 11 は c f 3 断層に切断されており、後期更新世以降の活動はないと判断されます。
0:17:35	続いて図 1 に戻っていただきまして、S 11 の分布範囲、あとは変状の有無等に基づいて設定しました図に、紫のハッチで示しております。
0:17:45	天井の部分等保守的に設定した範囲。
0:17:48	こちらは、敷地で言うと東側にありまして、青丸で示す重要施設付近にはございません。
0:17:54	重要施設付近には何があるかと言いますと、図 1 見ていただきますと、青ハッチで示しております。C A M S 11 が c f 3 断層に切断され後期更新世以降の活動のない範囲。
0:18:06	こちらが分布しております。
0:18:08	で、より詳しく重要施設付近の側壁地質図岩盤政治を示しているものが、ページの右側にあります図 4 になります。
0:18:17	こちら見ていただきますと、重要施設の基礎地盤に分布する S 11 付近の岩盤は、新鮮部、または一部で弱風化部の性状を示し、
0:18:26	天井が分布する箇所の強風化部の性状を示すものではないため、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:30	天井が形成される岩盤正常ではないと判断されます。
0:18:34	以上のことから、S11は、
0:18:37	後期更新世以降の活動はないと判断され、
0:18:40	将来活動する可能性のある断層等に該当しない。
0:18:44	このようなことを、この後、本編の中で順を追って、本日まで説明したいと思えます。
0:18:52	1ページ戻っていただきましてちょっとかっこ3ページのフローにお戻りください。
0:18:58	このフローの331、評価方針と、一番下の335、最後の評価を除いた3ポツ3ポツ2、3ポツ3ポツ3、3ポツ3ポツ4のこの大きな三つの塊。
0:19:10	のフローのところでそれぞれどのようなことを言っているのかというのを示していますのが、(5)ページ。
0:19:18	から、括弧、7ページまででそれぞれダイジェスト版として、言いたいことを1枚のページにまとめております。
0:19:26	まず(5)ページが3ポツ3ポツ2のCMS11の評価について、1ページでまとめているものです。
0:19:33	このページの左上、図1の断面図見ていただきますと、
0:19:37	黄色のマーカで示しているのがS11でして、S11は、地層に平行に平行で盆状に分布し、地下深部に続かないことから震源断層ではございません。
0:19:48	左下の図に見ていただきますと、S11は層厚が薄く、
0:19:52	断続的に分布することから、少なくともCM全体が動くような断層ではございません。
0:19:59	右上の図3、
0:20:00	をご覧ください。
0:20:02	チームS11。
0:20:04	は、粘土質の薄層の有無を詳細に検討しますと、図に示します①から③に詳細区分で分けられます。
0:20:12	最後に、図4、TF5トレンチのスケッチ見ていただきますと、S11は後期更新世以降の活動がない、CF3断層に切断されており、
0:20:21	変位センスの検討からも、後期更新世以降の活動はないと判断されます。
0:20:27	次に(6)ページをご覧ください。
0:20:30	こちらが3ポツ3ポツ3、S11の地表付近に認められる変状の検討のダイジェスト版となっております。
0:20:37	左上の図1をご覧ください。
0:20:41	こちらでスケッチと表で示しております。変状は、CMS11の地表付近の一部の範囲に限られた現象です。
0:20:49	また、変状の形成に関与したS11の最新面でありますPS1、
0:20:54	の分布については、弱風化部及び新鮮部のCMS11では認められず、地表付近で、上下バンが強風化部となっているS11に限られます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:05	次に、左下の図 3、
0:21:07	で示しております、変状の分と保守的に設定した範囲の概念断面図をご覧ください。
0:21:13	こちら、前回 12 月のヒアリングの時は P S 1 等の評価上の分布範囲と呼んでいたものですが、この範囲、
0:21:22	より適切にあらわす名称として今回、変状の分布を保守的に設定した範囲という名前に変えております。
0:21:28	ただし、ファインの考え方に変更はございませんので範囲としては同じものとなっております。
0:21:35	この範囲を図 3 に紫ハッチで示しております。
0:21:40	それと重要施設との関係を見ますと、村崎ハッチは重要施設の基礎地盤にはございません。
0:21:46	なお、変状の成因は、断層活動とは別の地震動による自動変岩盤の風化による体積変化等の N o n テクト B I G な要因で形成された非構造的のものと判断されます。
0:21:58	最後に (7) ページが、3 ポツ 3 ポツ 4、重要施設の基礎地盤に分布する S 11 の評価です。
0:22:05	左上の図 1 見ていただきますと、重要施設付近では、青ハッチで示しますが、後期更新世以降の活動のない範囲が分布しております。
0:22:15	次にその下にございますに、
0:22:17	重要施設付近の平面図及び側壁地質図をご覧ください。
0:22:22	右側の方に示しております側壁地質図見ていただきますと、シーム S 11 は風化部下限に近接しておりますが、S 11 付近の岩盤は新鮮部であり、
0:22:32	変状が分布する箇所の強風化部の性状を示すものではございません。
0:22:37	最後に、右上にあります図 3 の岩盤性状を見ていただきますと、S 11 付近の岩盤は新鮮部、または一部で弱風化部の性状を示し、
0:22:46	天井が分布する箇所の強風化部の性状を示すものではございません。
0:22:52	次に (8) ページをご覧ください。
0:22:56	ここから (13) ページまでが、前回会合からの主な変更内容を示しております。
0:23:03	こちらに関しましては前回ヒアリングでご説明したところから、変更したところでポイントとなるところのみご説明させていただきます。
0:23:12	(8) ページの規則の解釈別記 1 に寺下 S 11 の評価。
0:23:17	の、最初の下線引いてある S 11 の基準適合性の評価の部分です。
0:23:21	2 ポツ目の今回で 2 行目のところから追記しております。変状は、C A M S 11 が地表付近の一部の範囲に限られた現象であり、
0:23:31	断層活動とは関連せず、基準適合性の評価対象としません。
0:23:35	これに伴い、記載の適正化を行っております。
0:23:39	で書いた意図としましては今回、
0:23:41	評価対象を明確化して、現状の扱いというものが、より明確になるようにここは追記しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:49	それでは具体的な本編の内容に入らせていただきます。3-2ページをご覧ください。
0:23:56	すみませんこれ1回切ってもらっていいですか。
0:23:58	はい。
0:24:03	私どもがですね全体像でまずお聞きしたいこと。
0:24:07	聞かせていただきます。まず、今回説明しよう。第1印象としてですね。
0:24:13	前回の審査会合の説明が全く変わってないなという印象を受けてます。
0:24:18	ただ言葉を変えただけで、全世界5条は浅部深部という言い方を施設は小ところを今回返上S11と分けただけであって、結局分割評価していくことには、
0:24:29	変わりないという印象を受けてますが、そこは全く考え方が変わってないというふうに我々とらえますけどもいかがですか。
0:24:41	電源開発高岡でございます。
0:24:46	考え方は基本的には大きくは変わってございません。活動履歴が違うので、地表付近の一部にあるものは、返上ということで、現象として扱い、
0:24:58	あくまで
0:25:00	三条対象の評価対象というものが、CAMS11、
0:25:05	解釈別記1に照らして、シームS11を評価する、その前提で、
0:25:11	現状というものは、
0:25:14	話してわけに比べると、そういう形でございます。
0:25:21	そうするとですね、S-2の1452型全く該当されないというふうに我々とらえますけどもそのような理解でよろしいですか。
0:25:35	電源開発高岡でございますすみませんちょっとSEの145と言われると、
0:25:46	分けて、判断するのでなくSGTを一体として評価し説明すること。
0:25:53	という。
0:25:54	古藤ですよね。了承を分けて評価するのであれば、
0:25:58	地方付近と深部のシームについて名称表現等を再考すること。
0:26:04	この部分
0:26:06	評価に対して非常に大事なところだと思いますが、
0:26:13	全く変わってなくて、このコメントを受けてですね、まず、前回の審査会以降、
0:26:21	では、深部のシームと地表付近、
0:26:24	野瀬CMということで分けていたので、
0:26:27	一体として評価する。
0:26:29	一体として評価するというので、前提として返上を脇に置くと、そういう考え。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:37	でございます。
0:26:39	ですんで、
0:26:42	業者を分けるか一体化と言われたら、CMS11ということで、一体で評価するんですけども、その前提で、現状訳におけるという意味で分ける。
0:26:53	というふうにはなりますがそういった考えでございます。
0:26:58	ナガイですが、我々のこのコメントの趣旨はですね変状とS11分けられないだろうと。
0:27:03	いうのをまず大前提にあって指摘をしているもので、その中で、もし、
0:27:09	分けられるのであれば、そういうところを、S11全体像として分析してくださいというような趣旨なんですけども。
0:27:17	S11と変状が全く関係ないとはっきりいえる何かあるんですか。
0:27:26	電源開発高岡でございます。ですね。
0:27:31	全くお待ちください。
0:27:34	まず今、イエスノーで答えていただけますか。
0:27:38	我々はイエスだと思ってます。
0:27:41	です。
0:27:45	うん。
0:27:50	こちらのページで、
0:27:54	59ページを見ます。
0:27:59	(9) ページに前回の審査会合投稿。
0:28:03	今回の
0:28:05	変更点を比較しておりますけれども、
0:28:07	この左上の絵ですね、これが
0:28:11	今ナガイさんから言われたように前回の審査会合では、深部のシーム。1000 浅部のCMということで、
0:28:19	完全に弱風化部の境界である方を分けてたんですけども。
0:28:24	今回は右側で、
0:28:26	チームS11として、
0:28:29	一体として評価している。
0:28:31	青いライン。ただし、
0:28:33	ナガイさんが今、ご質問で、分けられる根拠があるかというところがそこがポイントだと思ってますけども。
0:28:40	この赤いラインの中に、赤い線が入ってると思いますけど、これ最新面を表してるんですけども、それが形成された時代時期が違うということで、
0:28:51	これ何回も審査会合で審議されてるかと思うんですけども。
0:28:55	深さの1で分けてるわけではなくて、時間ですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:01	活動した最終のか、活動。
0:29:04	時期で分けてございます。
0:29:08	ご質問に対しては、そういった考えです。
0:29:18	今の説明であると、図 11 と周辺の変状というふうに聞こえますけどそれではよろしいんですか。
0:29:29	9 ページの右上の A ですけども、まず S 11 で、周辺というか、地表付近の一部の延焼を、
0:29:39	変状等を申し上げております。今回そういう御説明です。
0:29:46	すいません。もうくどいようなんですけども、もう一度確認しますとこれ、右の図で S 11 という青の線の範囲のことを言ってんですよね。
0:29:56	1 点目返しタカオカです。その通りです。
0:30:01	最新面と言ってる P S 系とこの S D とすぐし直下ですよ。
0:30:06	この二つを明確に分ける理由っていうのは我々は納得できる根拠とは思ってないんですけども。
0:30:13	これは S 11 一体のものとして見るというふうに我々考えて、
0:30:17	前回のコメントをしてるんですが、そうではないんですか。
0:30:24	電源開発高岡です。これまでの審査実績経緯からいって、
0:30:29	そうではないと我々は考えてございます。あくまでも、
0:30:34	この形成された時代感が違うということで、時代間として分けてございます。
0:30:47	であるとするとですね S 11 は全く動いてない。つまり S G T の上に段差があることかと矛盾しますがそれはどうなんですか。
0:30:59	電源開発高岡です。
0:31:02	S 11 はあくまでも、C F 3 断層に切られていて、
0:31:07	その地表付近の一部の部分がですね、
0:31:12	形成要因は、非構造的のものとして、赤井。
0:31:17	ライン、ここに沿って、
0:31:20	現状が形成されたと、そういうふうに考えているところです。
0:31:26	青いラインはこれ
0:31:29	あくまで C M S 11 っていうのは粘土質の薄層で、すぐに株数センチ、
0:31:35	厚さがあるんで、そういった何て言うかな。
0:31:41	粘土層、粘土質の薄層を示しているんで、
0:31:44	最後に動いた部分っていうのが、最新面ということで P S - 1 ということで表してございます。
0:31:56	うん。それがね何も問題ないんだってここまで議論が長引いてないですよ。そもそも。
0:32:04	S 11 と P S 湾とか大瀬さんがおっしゃってるものは、我々一つのものとしてとらえているので、その活動性を評価してくださいというふうに我々は言っているんですよ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:13	今まで、
0:32:22	結局国の位置を変えたりとかね、言葉遊びをしてるだけで言ってることは全く前回の会合等変わってないとかとらえられないんですよ。
0:32:30	正直。
0:32:33	それだったらもういいか審査会合に上げてくださいますかと言ってもこちらの李。
0:32:37	コメントをちゃんと対応してないわけで、審査会合で議論できるレベルに達してないですよ。
0:32:46	電源開発高岡です。別に全然言葉の遊びをしているわけではなくて、実際の現象を指針に照らして評価しなきゃいけないということで、
0:32:56	これまでの審査会合ですとかヒアリング踏まえて、
0:33:01	対応させていただいている。
0:33:04	所。
0:33:05	なんですけどって、
0:33:06	前回のヒアリングでは、CMS11、
0:33:11	として、
0:33:13	清武藤線、
0:33:15	一体として、お出ししたわけで、そうじゃないで、電発さんはこう説明したいのは地表付近を分けて、その上で一体なんですよっていうそういうやりとりもあったかと思うんで。
0:33:27	そういった経緯踏まえて整理させていただいたところ、
0:33:31	でございますけど。
0:33:37	そうそうは聞こえないですね
0:33:39	少なくとも、私だけじゃこれはないと思うんですけど、非常に引っかかってる言葉の表現何ページかにあるんですけどね。
0:33:48	7ページの2上の、
0:33:51	基準適合性の評価等では、(8) (8) ページ下の基準適合性の評価というふうにポツ目の2行目から3行目もそうだし。
0:34:01	(2) の、最初のポツの2行目の冒頭の方にあるところに言うと、
0:34:07	あるんですけど。
0:34:08	あとは、三つ目のところ下から二つ目のポツか。
0:34:14	というところなんで、評価対象を明確にするとか、変状、評価対象としないとかって言い方は、これ一。
0:34:22	我々の意思に完全に反してますよね。
0:34:28	評価対象としないという言い方自体がそもそも、
0:34:32	今までと全く同じ言い方をしているとしかとらえきれないんですけども、他の審査官も多分何人かそういうふうにとらえていますよ、この言葉を。
0:34:44	もう加瀬タカオカでございましたの。
0:34:48	評価対象と返上評価対象としないというのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:52	ちょっと今のナガイさんの、
0:34:54	ご発言からと書き過ぎたのかなあとというふうにちょっと思うところありますけれども、あくまでも評価対象は何かということで、
0:35:03	本庄若生。
0:35:05	地表付近の変な現象なので、枠に置いておいて、CMS11を評価対象としてご審議くださいと、そういう。
0:35:13	意味合いを少し強調し過ぎたかと思いますが、
0:35:19	ですので、
0:35:21	ちょっと、
0:35:22	そういうことであれば、
0:35:24	記載がきついのであればそこは再考いたします。
0:35:31	まだ通じてないようですけど、これ記載がきついとかの記載がバツが明らかに我々と違う意図を書いていると、きついとかそういうわけじゃなくて、町が我々にとってみると間違っただけの表現をしているってことなんですけど。
0:35:49	0がタカオカでございます。すいませんちょっと何が間違ってるかも、もうちょっと丁寧にご協議いただければと思いますすいません。
0:35:58	理解が悪くて。
0:36:02	今ここでの評価対象はs11 明らかだって何を明確にするかそもそもまずわからない。
0:36:08	返上は評価対象外っていうふうにされると。
0:36:12	我々のコメントを完全につぶれてしまって、典型例はS-2-147ですよ。
0:36:19	ここに変状が生じている風化部の岩盤性状とか聞いて、これもこの次の評価対象外じゃないんですよ、評価対象なんですよ我々としては。
0:36:28	少なくとも評価の比較対象な体制を変えて言われると。
0:36:32	ここでも、我々の審査側の認識と、電源開発がずれてますよね。
0:36:39	そういうふうには、
0:36:41	感じませんか。
0:36:43	根岸高岡でございます。
0:36:47	うん。
0:36:48	今永井さん言われたことそれこそちょっと言葉の、
0:36:52	認識が
0:36:54	ちょっと合っていない。
0:36:57	で、第3条に照らしての評価ということで、そのように書いたんですけども、我々変状というものは非常に重要な現象なので、丁寧に、
0:37:07	きちんと扱わなきゃいけないという思いで、これまで、
0:37:10	ずっとAチームさんで審議していただいた時から、そのように、
0:37:15	対応させていただいておりますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:18	その点は、言葉の記載は置いといて長井さんの言われる、全く言われる通りでその認識は持っています。ですんで、
0:37:26	決して返上を効果論じて、取り扱ってるつもりは毛頭ございません。
0:37:33	我々として先ほど2章はご説明しましたように、カッコ3ページ。
0:37:39	ございますけども、
0:37:43	この3ポツ3ポツ3、この部分ですね、特に内藤調査官以下のチームで審議された時この変状の部分、
0:37:53	かなりディープに検討を、コメント指摘されたので、我々、一生懸命必死になって対応させていただいたところです。
0:38:02	その上で、3ポツ3ポツ4左下のフローございますけども、Bチームになって佐藤さんからのご指摘で、岩盤正常ですね。
0:38:11	重要施設、基礎地盤側面露頭するS11。
0:38:15	その部分を、
0:38:18	一生懸命追加データ取得して対応させていただいたところがございますので、
0:38:23	ちょっとワーディング言葉がよろしくなかったのかもしれないですけども、内容自体は、
0:38:29	真摯に対応させていただいておりますが、
0:38:51	規制庁のカイダですけど、今同じところの言葉遣いの話っていうところでもあるんですけども。
0:39:00	設置許可基準規則の三条3項っていうのは、
0:39:05	耐震重要施設及び専用キャスクは変位が生ずる恐れがない地盤に設けなければならない。
0:39:11	変位が生ずる恐れがある。
0:39:13	ただ駄目恐れがない地盤に設けなければならないっていうことで、
0:39:18	これ地表付近の現象に限られるから、これは、
0:39:22	いいんだとか、
0:39:25	理由に、今挙げてある3、
0:39:27	断層活動に関係ない。
0:39:30	ちょっとこの断層とわかん活動とは関連しないっていうのは、
0:39:33	どういう意味かちょっとわからないんですけども。
0:39:38	単純に変位が生ずる恐れがない地盤に設けなければならないってものが、要求事項であって、
0:39:45	何かそれで、地表付近のもんだから退場対象外。
0:39:50	ていうところがちょっと皆さんみんな引っかかってしまうんですね。
0:39:53	で、
0:39:54	例えば地すべりとかだって、地表付近の現象で、もともとあった断層面を使って、地すべりが生じて、
0:40:02	その地すべりも、駄目だというと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:06	あってはいけませんということは、
0:40:07	規則の解釈にも書いてあったと思うので、
0:40:11	ちょっとその辺りの、ちょっと書き過ぎかもってようなお話もあつたんですけれども。
0:40:17	三条3項っていうともう、変位が生じる恐れがない地盤に設けるっていうのが要求に対して、や変状は、
0:40:25	段差、
0:40:26	段差って言っても
0:40:28	変位が起きて段差が起きてるんだと思うんですけれども。
0:40:32	そこで違いますというのがちょっと、
0:40:34	検討はされてるんですけどこの言葉の使い方っていうのが、
0:40:39	ちょっとにわかには理解できないということ。うん。
0:40:42	先ほど来、
0:40:44	指摘し、コメントしてると思うんですけれども。
0:40:48	そのあたり3条3項の適合性というところで、いかがなんですかこれ、断層活動と関係なければいいんだっていうところもわからないんですけれども。
0:41:00	電源開発高岡でございます。断層活動の部分につきましては資料の1-31ページを出していただけますか。
0:41:16	これで断裂の分類の流れということで、地質用語であるものと指針に照らしたもので、こういった扱いするかということで、
0:41:26	整理してございますけれども。
0:41:29	断裂というものを、
0:41:33	層理面との関係で、そういう面に斜交してるか並行してるかというところで、
0:41:40	この左側で斜交してるものは赤枠の断層、そうです。層理平行なものは右枠のシームクリーンという形で扱っていると。
0:41:51	それで
0:41:52	間でブルーでありますけども、変位を伴う不連続面とか後遺症計算状況なものも、どう扱うかということであるんですけれども。
0:42:02	この変状というのは、ごめんなさい。まず、断層運動に関連するものはこの対象として、
0:42:09	今議論となったのはCAMS11ですので、このグリーンのシームの部分という。
0:42:14	こういった流れで、
0:42:16	シーム、粘土質の薄層ですけども、
0:42:21	右が層面に平行な変異があるということで、断層と同じ扱いで指針適合性を評価する。そういう意味で、
0:42:29	記載さしておりますそれが一つ目のカイダさんのご質問の回答。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:34	それで変状につきましては、ここの俎上に乗かってこない地表付近の、
0:42:40	一部の強風化部の中の減少という、そういう扱いですので、前回これワーディングも丁寧にすべきというご指摘もあってですね。
0:42:50	連系ではなくて、現象として段差、上に凸の形状、
0:42:55	あくまで現象として扱った。
0:42:58	形ですので、
0:42:59	ちょっと言葉としてはそういったものが評価対象でないという、ちょっと気持ちがあらわれて開催したんですけど。
0:43:06	そういった考えでございます。
0:43:15	はい。カイダですちょっと今の断層活動とは関連せずっていうところもあった。
0:43:21	説明もあったんですけど、シンプルに考えて、3条3項って変位が生ずる恐れがない地盤。
0:43:28	に設けなければならないっていうのは、
0:43:31	何か層面並行すべりだとか、
0:43:34	ノテクトニックなもの、地すべりも多分そうだと思うんですけど。
0:43:38	そういったものもひっくるめて、評価対象。
0:43:42	結果になってると思って、こちらとしては持ってるんですけども。
0:43:49	それが違う、違うんだって評価対象じゃないんだっていうところが、
0:43:53	先ほど書き過ぎかなっておっしゃってた。
0:43:58	んですけども、多分そうじゃないかなというふうに、
0:44:01	感じているところ。
0:44:04	連関しタカオカでございます。すみませんその点は今、ご説明。
0:44:08	ご質問しました。
0:44:10	ちょっともう一度、(9) ページご覧いただければと思うんですけども、前回、
0:44:16	この辺りですね、
0:44:19	12月のヒアリングでも、干場大となっていて、その時、
0:44:24	今鍛治さんご指摘のような、支持地盤までこう、
0:44:29	伝票を及ぼすような地すべり面でしたっけ。
0:44:34	断層等の三つ目のものでその辺りの考え方をちょっと誤って考えてい。
0:44:40	とらえていたところがあったので今回変更してございますけれども。
0:44:44	この(9) ページの右上にある赤いライン、
0:44:47	これ、変状が形成されたときの、P S1という最新面ではございますけれども、これは支持地盤まで、
0:44:55	及ぶものではなくて、地表付近の重要施設から離れた、あくまでも強風化岩盤中の一部ということですので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:04	3条対象には当たらないと、そういう考えで、
0:45:08	ございます。
0:45:10	単なるワーディング言葉の遊びではなくて、基準に照らした評価ということで、ちょっと真摯に対応させていただいてる次第です。
0:45:24	はい。カイダです。
0:45:26	いや結局それはいろいろ風化に関係するんだってというのがそれが本当だったとして、それが評価の結果、
0:45:36	うん。施設から離れたところにあるから、
0:45:39	関係ないんだってということで、何かこの冒頭で、評価の方針というよりも、結果そうなったというところ。
0:45:47	じゃないかなと思うんですけども。
0:45:51	審査の対象ってというのは、そういったもの。
0:45:54	いろいろ評価して行って、結果としてはじかれたってことはあるかもしれないですけど。
0:46:00	それが評価対象じゃないんだってものを冒頭で、
0:46:04	言われるとなんか、
0:46:07	これ。うん。
0:46:09	違うんじゃないかなというところの、
0:46:12	感想なんですね。はい。
0:46:15	電源開発高岡でございます。ちょっとその辺りも、これ何。
0:46:20	何度も何回も議論。
0:46:23	繰り返させていただいて、
0:46:25	まさしくカイダさん言われるように結論先出はいかんと言われたこともあって、
0:46:31	その時には
0:46:33	最後に結果として出てくるように記載したんですけど。
0:46:37	また、ヒアリング重ねると、最初に、概要サマリーを書かないとわからんっていうなことも言われたので、今回最初に出させていただいたのは、
0:46:49	あくまでもご説明用紙ですので、結論まで踏まえた、
0:46:54	サマリー。
0:46:55	原発が言いたいことは、
0:46:57	何ら端的に言うとなんだって1枚で示すべしというのも前回、岩田さんから言われたんでそういったこともあってカッコ4ページをお示ししたりしてあるんで、
0:47:07	ちょっとそういったところで結果が先に出てきている。
0:47:10	本があるのかもしれませんが。
0:47:13	ただあくまでも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:15	そういった現象を、もう何でもこうしてしまってるからっていうのもあるかもしれないんですけども、あくまでもニュートラルに、
0:47:24	地質的な現象としてどうとらえるかということで、資料の構成を分厚くあるのは、そういった流れで、
0:47:31	アプローチしているから、
0:47:36	方針。
0:47:38	加来。
0:47:39	各論の確定施設の方針からこう4読んでいただくと。
0:47:44	あくまでも、
0:47:46	上流側から、最後に結論が出てくるような形には、
0:47:50	資料構成になってると思っておりますが、
0:47:54	いかがでしょうか。
0:47:56	非常にこれ、
0:47:58	確かにパッと見たただけです、先ほどの(8) P4断面図にございますように地表付近に、
0:48:06	ごめんなさい(9) ページですね。
0:48:08	中央付近に、
0:48:10	変状があるので、あたかも1続きのように見えてしまう現象なので、非常にわかりにくいと思うんですけども。
0:48:18	そういった考えで
0:48:20	整理させていただいております。
0:48:24	すいません私の名前が出たのでイワタですけれども少し申し上げるとですね、
0:48:31	我々のコメントっていうのはそもそもS11を1本として扱ってくださいね。減少についてはそれぞれ分けてくださいねってことだったんじゃないんですかね。
0:48:39	私評価の対象から外していいなんていうことは一言も言ってないと思うんですけど。
0:48:45	今回のその計画の流れを見るとですね、そもそもこれ関係ないですよ、から始まってますよね。で、私が言いたいのは、全体を見て、その結果まで含めてですよ、どういうことをやったからこれはこうなんですよということわかるように1枚紙してくださいと言ったんであって、
0:49:00	そもそも評価の対象から外していいなんて言いましたか。
0:49:05	それちょっと心外ですね。
0:49:09	電源開発高岡でございます。
0:49:13	岩田さんが、私が言われたという現象として外すっていうのはその通りで、評価の対象から外すというのは、
0:49:22	そこまでは岩田さん言われておりません、先ほどから申し訳ございませんと私申してますように、
0:49:29	少し強く書きすぎた感あるなと思ったんで、これは割れの方で書いたものですので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:37	その辺は、
0:49:38	岩田さんと同じ認識で、
0:49:41	考えてはございます。ちょっと表現の仕方がよろしくなかったかなと。表現の仕方というか何かアプローチがそもそも何か。
0:49:48	変な気がしてですよ。これまで聞いていたのはc mというのは11本ぐらいあってですよそれを14条対象として見たときにはどういうふうにマクロに見た時は考えられます。一方で、地表付近の現象としての変状があるので、
0:50:01	これについてはどう説明するんですか。3条に照らし合わせると、地すべり駄目ですよと書いてあるわけですよ。
0:50:08	今回や変状に分けたんだけどこれ地すべりかもしれませんって書いてあるっていうことは、これはアウトってことですよ。これは前々回のヒアリング私申し上げましたけど、そういう評価をして欲しいんですねっていう。
0:50:19	ことなんですよ。皆さんの資料を見ると、
0:50:21	いずれも冒頭あったようにですよ。前回面談もやりましたけれども、この資料で審査会合をやらせていただきますんで、これで平場で決着しましょう。その方がいいんじゃないですかね。
0:50:36	電源開発高岡でございます。今まさしく岩田さん言われたように、地表付近の減少ということで、我々扱い考えてございまして、
0:50:48	P S 1 というものは、支持地盤まで変位変形をおよぼしていないという、そういう考えで、
0:50:55	ございますので、磯野さんは、岩田さん言われた通りの認識ではございます。わかりました1点だけ、返上部分というのはS11なんですか。
0:51:07	違うんですか。同じなんですか。違うんですか。
0:51:13	電源がスタバを抜くかでございます一言でばっ違います。
0:51:18	変状の部分についてはそこが多分認識がずっとずれてきていて、我々はまずは一つのもの、S11として評価をしてくださいね。
0:51:28	先ほど申し上げたように、四条で考えた衣服的なその評価というのは前半聞きましたよねと。
0:51:34	その上で地表の部分、こういう変状という所ものについて3条に照らしたらどうかということはずっと言ってきたと思うんですよ。
0:51:41	それが今回いやそれは、あの日、深いところがS11で、浅いところは返上ですというふうに、違うものになっているように、やっぱり受け取れる。
0:51:51	受けとめてしまうんですね。
0:51:52	これは、
0:51:53	こういうコメントは我々して、してきたつもりはないんですよ。
0:51:56	S11の地表付近の減少について、どのように評価をされるんですかということの説明をくださいと申し上げてきたつもりなんですけど。
0:52:05	違いますか。
0:52:07	電源開発高岡でございますまさしく、今、岩田さん言われた通り、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:13	我々も受け取っております。で、
0:52:17	変状がS11かどうかというところは、3-35ページをちょっとご覧いただければと思うんですけども。
0:52:31	これは青いラインがシームとしか凡例ありませんけどこれCMS11です粘土質の薄層です。それで、
0:52:39	後期更新世に返事た生じた変状は、概ねこの大変の箇所で、
0:52:45	この地表付近のだ円の範囲で強風化部、
0:52:50	その上の段丘堆積物の、
0:52:53	中に見られる段差が上に凸の形状、こういった、あくまで現象です。
0:52:59	そのように、変状というものはとらえてございます。
0:53:04	ナガイですかそうであればですけど、多分これ過去2、Aグループが担当さ議論されてると思うんですけども、変状というのはどこでも見られる話なんですか。それとも、このCM員、
0:53:15	に関わるところだけで見られる話なのか。
0:53:21	電源開発の高岡でございます。これも資料の中に子細に記載しておりますけれどもどこでも見られるものではございません。
0:53:30	あくまでもCMS11に限って言いますと、
0:53:34	地表付近の強風化が岩盤の移設する部分の一部に限定されると、そういった内容でございます。今の私の質問はシームの強風化部とかそんな関係なくですねシームがあるところで見られる。
0:53:47	シームがあるところではしか見られない現象ですよ。
0:53:51	全くCMがないところでこの現象が見られるっていうなら、今の説明のロジックはある程度成り立つかもしれないですけど、今、そもそもシームがあったところでした。
0:54:00	この原資が見受けられないので、我々はシーム切り離すことは、
0:54:04	普通はしないですね、判断として。
0:54:08	ちなみに後で言うので、この判断という言葉はこの新規制基準適合性の判断という意味の判断です。
0:54:22	電源開発高岡です。
0:54:25	新は見られる箇所以外には確認されない。あくまでもCMS11の地表付近の一部。
0:54:33	その付近の減少と。
0:54:35	ちょっと繰り返しになりますけど。
0:54:38	そういった、
0:54:40	調査結果評価でございます。
0:54:46	繰り返しますけどもであれば我々はシームと一体として、一つのシームの一つの部分として見なくて全体として、このCMS11の評価の、
0:54:57	中の一部として評価対象として、我々は見ます。
0:55:01	それは前から伝えている通りで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:03	あともう一つ申し上げますが、表現が間違っているとかっていうふうに表現が適切じゃなかったって言いますけど、第3条に関しては、御社の表現がすべてですからね。
0:55:15	言葉で説明する四条とか五条の地震動とか津波とかの数字が違って、ここはどういうふうに説明されるかがポイントなので、
0:55:24	言葉というのは非常に大事です。
0:55:27	そこはちゃんと認識を間違えない貸してください。
0:55:32	はい。提言開発タカオカでございます申し訳ございません私どもも、そういう思いで、
0:55:39	取り組んではございます。
0:55:59	すいません。規制庁ナカムラですけども、さっきから同じような質問になるかもしれないんですけど、永井からもありましたけど、
0:56:09	もうちょっと確認したいのは、(9) ページとかで、
0:56:13	当電源開発としては、
0:56:17	結局のところは、何か前回の
0:56:23	会合の説明した内容と全く変わってないように思うんですけど。
0:56:28	地表付近と深部のところで、結局分けて考えてるっていうところで、
0:56:35	一体としないで分けて、それ、何でこう、
0:56:39	分けて考えられるっていうふうに考えてるのかちょっと考え方を教えてもらえます。言ってる意味わかりますかね。
0:56:50	なんで深部と深いところと、浅いところで分けて考えられるのかっていうの考え方を教えてください。
0:57:01	電源開発の持田です。
0:57:04	ただいまの(9) ページの右側の図ですけども、
0:57:08	我々 C A M S 11 の先ほどタカオカ申し上げたように、一体として考えてるっていうのはこの絵の中のですね。
0:57:14	青い線の C M S 11 ってのは、北海道からそういうところまでずっと入ってる。
0:57:19	それとは別にそのの最新面、浅いところ最新面。
0:57:24	その C M 本来の S G の動きとは、
0:57:27	別に後期更新世に動いた。
0:57:31	部分がこの、
0:57:32	青い線の中に細く入ってる赤い線のことを言ってます。
0:57:37	ですから、評価の対象としての S G 自体は、
0:57:39	この青い線、
0:57:41	そのものなんですけれども、それにかぶってきてる、値とところだけに見える現象。
0:57:46	動いた部分はこの赤い、
0:57:48	ケース 1 の最新面。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:50	動きとして出ておりますので、
0:57:54	そういう意味で我々ですから青い線としては一体として扱ってて、
0:57:57	その上に浅いところだけにある動きがあるというふうに各境界部で確認しております。このケース1については、
0:58:05	S Gは評価対象ですけれども、浅いところにだけある特殊な、
0:58:09	現象については
0:58:11	まず言い方良くなかったんですけども、評価対象から外すという。
0:58:14	それで考えております。わかりました。
0:58:18	それで言うんですけどね、今は、こういう9ページでわかりやすさっていうところでこういうイメージ図っていうのを電発さん、よく使われるんですけども。
0:58:31	ある意味、イメージ図ってこう、
0:58:34	あくまでイメージで、
0:58:36	わかりやすくすしてるんだけど、ごまかしてるような感じのところも、感じるわけですよ。言葉悪く言うと、そうすると、例えば
0:58:47	ここの給料括弧の9ページとかで言うと、上の方の四角で囲まれてるといふかも、
0:58:54	変状が明確に出てるところっていうのはこう、何となく変状出てるんだらうっていうのはわかるんだけど、じゃあここの赤と青で分かれてるところとか、本当の青野。
0:59:05	CMS11って書いてるようなところも本当に動いてないのかっていうと、
0:59:10	そこまでは多分わからないでしょうね。そうすると、
0:59:15	本当にこの絵が、
0:59:17	あって、
0:59:18	二つのことを明確に分けられるのかとか、そういうところっていうのはどう考えてるかだけ教えといてもらえます。
0:59:29	はい。電源開発の持田です。
0:59:32	今の(9)ページのページで申し上げますと、
0:59:35	深いところの三行が右側の図ですね。
0:59:38	CMS11の青い線が一番右の端の方に行くところっていうのは
0:59:43	岩盤不強風化してないところ。
0:59:45	島貫のところですので、
0:59:47	覚えたように考えてるんですけども、そう、そういう動いてない根拠としてはですね、この右下の図5のですね一番右下の方です。
0:59:55	スケールのちょっと上にですね。
0:59:58	資料3断層ってのはこの二重線で、左上から右下に入ってますけれども、
1:00:03	この一番右下の辺りは市の方で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:08	P F 防衛トレンチというトレンチで、
1:00:11	C S T 家が、
1:00:12	c f サンドースに切られてるの確認しておりますので、
1:00:16	それを根拠として、
1:00:18	後期更新世以降の活動は、C M S 従事ではないと。
1:00:21	いうふうに判断しております。
1:00:23	そのC S 3 断層自体は、後期更新世以降の活動ないことは、M 一面段丘堆積物との関係で上載地層で把握しておりますので、
1:00:32	それからS E 自体は活動はないと。
1:00:35	恐れ入ります。
1:00:41	考え方だけは聞きました。
1:00:45	あともう1点はさっきカイダの方からですね、解釈別記1の話とか言われてましたけども、
1:00:53	はっきり言って解釈別記1とか2、
1:00:57	基づいて、
1:00:59	ご説明するようになっていようなコメントを今までずっとしてるんですけど、今回のやつも結局のところは何かっていうと、
1:01:08	解釈別記1に照らしてその評価してますよって言いながら、
1:01:13	ある意味、
1:01:16	直接的に評価してないっていうふうに感じるんですけど。
1:01:22	こちらとしてはですね。
1:01:24	要するに、
1:01:26	耐震重要施設、要するに耐震重要施設とかそういうようなものの横に動く可能性のあるものがあっちゃいけないよ。
1:01:35	そういうところには設置できないよって言うわけですけども。
1:01:39	実際にはそういう、
1:01:42	ところの説明ってというのが、あんまりされてないというか、
1:01:46	結局はそういうシームなりC M S 11があるっていうことでいうと説明できてないような感じにするんですけど、それは、
1:01:56	今事業者としては、
1:01:58	説明できてると。
1:02:00	解釈別記1に対して、
1:02:02	適合してるってことを言ってるってことですか。
1:02:14	電源開発高岡でございます答えからすると、我々そのように御説明させていただいていると考えております。
1:02:23	ちょっとまだ資料をご説明してないで恐縮なんですけど、3-209 ページ。
1:02:30	ご覧ください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:36	これが
1:02:38	前回ヒアリングで、ちょっと断面図追加してくれと言われたところですけど、先ほど来お話が出てる。
1:02:45	この右下村崎発注の部分。
1:02:48	これが、
1:02:49	変状が分布する範囲なんですけど。
1:02:52	そこの断面図ですね、東西断面、これ上下が東西断面なんですけど。
1:02:57	1'断面、
1:03:00	ですね、ちょっと簡潔に話しますけどあまり時間かけず、
1:03:03	これ210ページにございまして、
1:03:07	これ、
1:03:09	右上がTAF防衛トレンチ、これCF3断層に切られて、これより深部で、特に新鮮岩盤中が活動性がないと。
1:03:17	そういったものが、この断面図の左側の重要施設の方まで続いている。
1:03:24	そうすると重要施設の基礎地盤側面、
1:03:27	ここはCMS11は新鮮岩盤中のS11なので、
1:03:31	活動性がない部分が分布している。それが3-215ページですね。ちょっとダイジェストだけです。
1:03:41	これは重要施設。
1:03:43	の側面ですね赤いラインはS11ですけど、これは、
1:03:48	ブルーハッチの活動性のない部分。
1:03:52	そういったところに接してるんで、重要施設基礎地盤には、
1:03:58	考慮する断層等は露頭しないと、そういう評価で3条対象。
1:04:05	問題ないとそういう評価でございまして。
1:04:54	すいませんナガイですけども、言葉という観点でですねちょっと何個かですね、お詫びを、私が非常に気になってるところなん、申し上げます。
1:05:04	まずう動物の3ページ目に、特に散在してるんですけど。
1:05:10	結構簡単ですね判断っていう言葉を使っていっちゃると。
1:05:14	判断っていうのは、断定できるという意味なんですけども、当然ね。
1:05:19	これすべて断定できることに対して判断で使っているのかっていうところがまず、
1:05:26	杉様に気になります。断定できるのであればそれなりに間違いのない、誰がどう一応間違いのない根拠が出せると。
1:05:33	いうふうにとらえますけども、それはそれで間違っていないんですか。
1:05:48	電源開発のモチダでございまして。
1:05:51	今ナガイさんのおっしゃったところというのは言いますのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:54	このローマ数字 3 ページで言いますと判断されるっていうところでちょっと見ていきますと、
1:05:59	一番下のところでしょうか。
1:06:01	なお変状の成因はというところに一番最後に判断すると書いておりますけど。
1:06:06	ほど入れ替えでよろしいでしょうかこのページで言いますところで、
1:06:10	そこだけであってその上 4 行上にもありますし、
1:06:15	第 3 条 7 分の評価のところにも判断されるというふうにありますよね。
1:06:22	かなりの数の判断ということもありますけども、
1:06:28	はい。今、申し訳ありません。
1:06:37	なぜこういう判断されたか説明してください。
1:06:42	はい。
1:06:43	電源開発の持田です。この下から三つ目のポツの第三條新聞の評価の、
1:06:49	C M S 市橋 F -1 断層の切断関係によりってというのはこれはトレンチです先ほど申し上げましたけれども、T A F 防衛トレンチというところで、
1:06:58	C M が明らかニシオ 3 断層に切られてる。
1:07:01	40 センチぐらいのずれ、すいませんナガイですが中身を聞いているわけではなくてちゃんと根拠すべてが根拠を持って判断といえるものなのかと。
1:07:10	いうことを聞いてもらって、
1:07:13	その判断と書いてるところはすべてさ、確実な根拠があるんですかと言ってるんです。
1:07:18	例えば幾つかの可能性があるので、どれか一つを選ぶってような場合の判断ではなくて、例えば示唆とか推定されるとか推測されるとか、
1:07:27	そういうふうに、普通は言葉分けををすると思うんですけどほとんどが判断という言葉を使っているの、そこまで強い根拠があるんですかというふうに全般的な話を聞いてるんです。
1:07:43	電源開発高岡でございます。判断というもちょっと永井さんのいわゆる判断と我々判断があって、今言われた小さとか推定ということから言うちょっと違う。
1:07:55	出ます。
1:07:56	我々判断ってというのは、あくまで事実関係の検討を積み重ねて、最後に、
1:08:02	評価するときに判断という言葉を使ってございます。その他、
1:08:07	考えられる推定されるってというのは、我々のルール決めて、
1:08:12	記載はしてございますか。
1:08:15	ですのでナガイさんが言われた判断すべて、定量的客観的なデータに基づく判断かと言われると、
1:08:22	それだけではなくて、考えられる推定される、最終的にどう判断するかの際に使ってる部分がございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:37	それって日本語として正しいんですかね。我々はそういうところに求めてですけど最後のところでは、
1:08:47	なのであるサイトが断層がないと書いたところを断層は認められないと書き直させたんですよ。
1:08:55	電源開発高岡でございます今、長井さん言われた断層がない認められないそういったところはワーディング丁寧に、
1:09:03	使っております。
1:09:07	我々の推定される考えられる判断する、基本的にその三つのパターンなんですけど、これもですね、
1:09:16	日本語の、
1:09:18	ちょっと名前忘れました時点等、そういったものも、
1:09:22	調べまして、世の中一般的に公用文で使われてる要望を我々使ってると考えてございます
1:09:29	そうじゃないで、規制庁さんのナガイさん言われるようなルールがあるんであれば、
1:09:33	我々知らないところある。
1:09:36	のであればその辺り、ご指導いただければと思います。
1:09:42	ナガイですけども、さっきから私も申し上げてる通り、御社の考えが伝わるような言葉を使ってくださいって言ってるんですよ。
1:09:48	判断というふうに書かれるということは、確実に間違いなく誰がどう見ても同じ結論多数ということ述べてるんですねっていうことを聞いてますよ。
1:09:57	判断って日本語の意味としては正しくは、そういうふうに辞書には書いてありますよね。暫定付けられるとか。
1:10:04	探偵付けられず、誰がどう見ても 100%間違いなくその結論立つもの会社すべて判断と言っているんですかと。
1:10:16	電源開発高岡でございます。ちょっと今手元に事象がないので、そこまで、100%断定できる、100%間違いのないものを断定できるものを判断。
1:10:27	かって言われると、ちょっと私は、
1:10:29	そうですねわかりましたっていうふうにはちょっと今頭にはならなくて、
1:10:34	どうしても、繰り返し3、3段目の繰り返しになりますけども、最終的な評価として、推定される考えられるなどを積み重ねた上で、最後、
1:10:45	着地する時にも私ども判断。
1:10:47	ていうそういうことを、
1:10:49	この資料までは使っております。ちょっと今の議論を踏まえて、
1:10:53	確認はしたいと思います。
1:11:06	今の点ですね1例とちょっとこちらから挙げさせてもらおうと、今回コメント回答して部分しとったんですけどね。3-2021。
1:11:17	ここでも、
1:11:20	これ判断だけ確認なんですけどね。
1:11:23	言葉としては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:24	衛藤さんの 21 のところの結論で、
1:11:28	従って以降のところ確認されるって落としてるんですけど、これ一、配布屈折法の結果から、チームがあることを確認してるからこれがいえるんですか。
1:11:38	これは明らか私は確認ということは、マッチングしないと思ってるんですけど。
1:11:45	3-21 ページ。
1:12:01	電源開発高岡でございます。3-21 ページ、これ本上のところだと思うんですけど、CMが続いているっていうところは、
1:12:11	そこまでのことではございます。別紙先ほど来話出てますけど、C地層に平行に分布するということが、敷地の詳細調査の結果等からわかっておりますので、
1:12:23	3-21 ページの上段断面でございますけども、それぞれの地層これ大局的な地層ですけど、そういったものが南に行くに従って、地表に上がってくるということで盆状。
1:12:35	ということで、シームジャストじゃなくて、地層が教授、シームを狭在する地層を見て、
1:12:42	判断して、各、
1:12:45	そういった地層、
1:12:48	シームを狭在する地層を見て、
1:12:51	我々は解釈を行っていて、最後盆状に分布するため、深部には連続しないことが、
1:12:59	プラスアルファ速度構造を見ても同じようなトレンドを示すんで、確認される層位名で記載してございます。
1:13:07	それはすいません、確認される主語は何なんですか。
1:13:10	我々神話と呼んでるんですけど。
1:13:24	電源開発高岡です。主語はCMは、地下深部には連続しない。
1:13:32	というところ、しないこと。
1:13:35	うん。
1:13:37	じゃあ確認される所は何ですか。
1:13:40	確認される主初号はナガイですけども、そのようなことが確認されると、そういう日本語です。
1:13:48	音が確認される。
1:13:50	主語がこと事実が確認される。
1:13:54	シームは地下深部には連続しない。
1:13:56	ちょっと腹部になっちゃってるかもしれないですか。
1:14:10	今、今の中で1例ですけどね。他にもそういうのは結構散在されるんですよ。やっぱそういうことは御社の考え方を、
1:14:18	確認する中で、
1:14:19	結局

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:20	今回のコメント回答と似たようなコメントをですね他のところに散在していくことになりそうですけどそれでも判断という言葉使われますかという、そこはちょっと。
1:14:29	しっかり御社の考えなのか。
1:14:32	いろいろ類推するのかというところはっきりとですねしていただいた方がですね、我々も、
1:14:37	御社の考えを理解しやすくなります。
1:14:40	あともう一つは、ここも決定的に我々に1ずれてるところなんですけども。
1:14:46	何ページがいいのかな。
1:14:48	何ヶ所かあるんですけどね。(1)以下、括弧1の2行目。
1:14:58	変状の形成時期も、もろもろ等を検討するっていう。
1:15:03	書いてありますけども我々検討してくれた求めてないんですよ。
1:15:08	前回求め、佐藤から申し上げたのは、変状の成因等を考えた上で、何を確認すれば、
1:15:15	活動性の評価に使えるのかを引っ張り出して欲しいと。
1:15:19	いうことを言った後、
1:15:21	記憶してるんですけども。
1:15:23	その辺の理解いかがですか。
1:15:25	繊維等を検討するではちょっと我々に外れている分も聞こえるんですけども。
1:15:40	例目返せタカオカでございます。
1:15:43	この括弧1ページは、
1:15:46	大局的なバグっとしたもののなので、ちょっと長井さんのご要望のところ、
1:15:52	までは、
1:15:53	本日説明が至ってないかと思ひまして、
1:15:56	佐藤さんからの、確か指摘コメントで、成因についてですね。
1:16:03	幾つか挙げたものでその事例を上げるっていう、その心のところで、
1:16:10	その活動性評価、
1:16:13	ですね、構造的なものかどうか、そういったものを判断できるようなものというところかと思ひますので、
1:16:19	ここは、
1:16:21	今ご指摘のところは成因等を検討するというのは、
1:16:24	もっとその前段のバブっとしたところですので、
1:16:28	資料の中はご趣旨踏まえたものは用意してると考えてございます。
1:16:33	いかがでしょうか。うん。今の説明とやっぱり明らか認識がずれてますね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:39	我々成因を求めてるところは、今、最後のところで深部と浅部の違いとかをねいろんな市町で比較検討されてますけども、その妥当性とか、
1:16:51	元になる根拠として、
1:16:53	変状の成因から考えられることを引っ張り出してくださいと。
1:16:58	いうことを、確か審査会合でもう、そのあとヒアリングのサトウのほかにケースしたところなんですけども。
1:17:05	これ変状の成因の検討と規制委員を検討しただけで今終わってますよね。
1:17:12	それを求めてるんじゃないんですけど我々としては、
1:17:16	変状の成因としてこれが共通事項とか、こういう現象はあり得るから、それを、その差異を見れば活動性を評価できるといったロジックを作っ て欲しいというところでは言っていたはずだと思ってるんですけども。
1:17:31	電源開発高岡でございます。ですので、
1:17:35	私の言い方が良くなかったのかもしれないんですけども。
1:17:39	考えられる成因をいくつか挙げて
1:17:44	地震による、
1:17:46	流動変位ですとか、体積変化いくつか、五つぐらい上げてるかと思いま すし、
1:17:51	それから複合的要因、そういったものをですね。
1:17:55	文献の事例で、の現象に適合するしないものを挙げて、
1:18:01	その上で
1:18:03	最後の結論としては、非構造的なもの、ノンテクトニックの要因による 転記構造的なものということで、
1:18:11	まとめておりますので、今長井さん言われたご趣旨。
1:18:17	反映したつもりではございますが、いかがでしょうか。
1:18:21	ナガイですがその結論を求めてません。
1:18:26	非構造的であるということは求めてないです。
1:18:30	ここで求めてるのは、どういう現象の違いがあるその子起因現象として ですね。
1:18:38	御社は府多分そういう風化というのだろうかと思うんですけども。
1:18:43	そういう風化っていうふうの説明できるための根拠をここでちゃんと検 討してくださいと。その中で船員は必ず登場人物必要なんじゃないん ですかというのが、
1:18:55	サトウの言ってるところです。
1:19:00	めかしタカオカです。
1:19:03	言われる場所は、その通りで理解しておりますが、
1:19:09	アウトプツコが、
1:19:12	何が違うのかなと、ちょっと今すぐ言われて、
1:19:15	やっぱともに動い樺ないんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:18	風化がキーワードになっていて風化に関連するところまでは理解したというのは規制庁さんの審査会合で言われたかと思うんですけど。
1:19:27	風化と変状の成因の関係ということで、
1:19:31	ノンテクニクの文献ですとかありとあらゆる文献を基本的に調べて、地震による自動変位だ。
1:19:40	体積変化だ、凍結融解だって複合的要因。
1:19:44	そういったものが考えられるというところ。
1:19:48	ですので、非構造的求めてないって言われても、
1:19:52	構造的を求めてらっしゃるのかとかちょっと思っちゃったりするんですけど。
1:19:57	ちょっと。
1:19:59	ナガイさん言われるご趣旨が理解できないのもう少し丁寧にご教示いただければ幸いです。
1:20:04	うん。さっきから申し上げてるつもりですけどそのあとの、
1:20:07	風化の必要とかいろいろデータの比較をしていますよね。
1:20:11	それにあたっての。
1:20:13	バック、バックグラウンドの考え方としてそれを使ってくださいって言ってますよ。
1:20:21	今可能性のある成因というのはすべて、例えばですよ、すべてが風化によるものと、風化がスタートであったらこの円減少はどれも起こり得ると。
1:20:31	いうのでは、起因現象として風化というものができて、風化について比較すればいいんだろうねっていうふうに、
1:20:39	こっちはすんなり受け入れられるんですけど、今、宇津木支店ですね。
1:20:42	清委員のお話と、そのあと、
1:20:46	比嘉空評価の話が、そこをちゃんと融資に繋いでくれというのを我々のリクエストなんですよ。
1:20:53	脱水抜けた成因の検討で終わりじゃなくてあくまでそれは、表活動性評価のためのきっかけとしてちゃんと使って欲しいと言ってですよ。
1:21:02	今きっかけになってないんですよ。結論付け方。
1:21:05	血で結論でここで終わりではなくてあくまで活動性評価つなげるための、
1:21:11	一つの検討としてやって欲しいと言ってですよ。
1:21:19	電源開発高岡でございます。
1:21:22	ちょっとですね、清委員。
1:21:24	ていうのはそもそも評価の審査対象ではないということを、
1:21:28	言われていたのでちょっとそういう頭があったのかもしれませんが。まず一つは、
1:21:34	それから清委員から活動性評価という、
1:21:39	でもですね、活動性、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:44	というか、あくまで変状は現象ですので、それが形成された年代というところで、風化、風化が、
1:21:54	生じた年代については、第4紀後期更新世の、
1:21:59	離水した後の、
1:22:04	風化作用ですね、それに伴って形成されたというところ。
1:22:09	ですね風化はですね。
1:22:11	その時のトリガーとして、
1:22:15	地震動による自動変位とか、
1:22:18	風化に伴う、
1:22:20	粘土鉱物増加に伴って体積変化で凍結融解作用等と、そういったところで、
1:22:28	考えてはございますけど。
1:22:31	すいません。ですけども、ちょっと議論があんまりかみ合っていないので、我々はですねこのノンテクトニックな要因で形成された非構造性のものだと、0になるとは思ってないってことなんですよ。
1:22:47	将来活動する可能性のある断層等とは何ぞやと考えていただくと、別にノンテクトニック関係ないですよ。
1:22:55	なぜ、返事をしてるところとしてないところがあるんですが、それらはS11イコールですよ。
1:23:01	差別化ができるんですか。
1:23:03	現状があっても、ここはいいんですか。いいんじゃないんだ。いいんですか駄目なんですかということをやちゃんと科学的根拠を持って整理してくださいというのが、多分これまでの、こちらのリクエストだと思うんですけども。
1:23:15	なぜ結論がこうなるかがわからないということをや、先ほどから長尾へ行って、一つの要因としてこういうものが挙げられて、それらをちゃんと分析した上で、どうしてこうなってるかをちゃんと、
1:23:27	説明しないと、将来活動する可能性のある断層等に該当するのかわからないのか判断できないんじゃないんですかと申し上げてると思うんですけど。
1:23:40	電源返しタカオカでございます将来動くかどうかだから、将来の将来、
1:23:46	風化が進んで何らかの現象で、
1:23:50	変状が生じないか、そういうことを、
1:23:53	言ってくれて、すみません将来活動する可能性のある断層等というのは定義の話なので、それ規則を読んでください。
1:24:02	それは承知です。
1:24:04	要するに合致するかどうかということをやっているんであって、ノンテクトニックだから丸とかということではないはずですよ。だから、これで最後おしまいになってますけどこれだけでは別に我々理解しませんよということなんですけどね。
1:24:25	レンゲ加瀬タカオカでございます。
1:24:29	わかりました。繰り返しになりますけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:33	ちょっと清委員は、審議対象外っていうお話もこれまであったもので、そこで終わってる感があるんや。先生、清委員というのはそうではなくて、
1:24:43	どうしてこれが起こったのかということ突き詰めたいということではなくて、実際に、状況としては変状が起こってるわけですよ。それはS11なわけですよ、我々の理解は。
1:24:53	それが将来活動する可能性のある断層等に該当するかしらないかということちゃんと深掘りしてくださいねと。それは科学的根拠を持って、皆さんが今まで説明してきたように、
1:25:03	強風化部と新鮮部では何か状況が違うみたいですよ。それらはどうして違うのか。
1:25:08	で、どういように扱うことで、それらは基準に対しての適合性が説明できるのかということ求めてるんですけども。
1:25:16	その、
1:25:17	理解というかですねこちらの思いが伝わってないと思うんですが。
1:25:34	長瀬高岡です。
1:25:37	運航収支は理解している。
1:25:40	つもりではあるんですけど。ですんで、変状が生じるようなところ、強風化岩盤中に、重要構造物の、
1:25:48	側面のS11は分布していない。
1:25:51	これを、
1:25:52	そういう、いや、すいません全くすいません食い違っているのであればですよ、ローマ数字3のですね一番最後のなお以降の文言というのは、これでおしまいにならないんですよ。
1:26:03	それを求めてるんですけどね。
1:26:07	ローマ数字3ページということですか。ですので、だから最後、
1:26:14	直で非構造物で判断されている0で終わってるからということ言われてるわけですよ。なるほど。ちょっと言葉じりをとらえてそういうふう言われると困るんですけども。
1:26:24	先ほどから繰り返になりますけど変状があるってことないところがあってそれはS11ですよ。
1:26:29	それが将来活動する可能性のある断層等ではないということ根拠を持って説明してくださいということだけなんですけどね。
1:26:37	佐瀬ナガイ加茂飯間金岡清川さん。
1:26:40	でもあるとはいえ、変状の成因の結論はいらんんですよ最後のところで我々は。
1:26:46	返上の整理の結論が欲しいわけじゃなくて、変状の成因が検討するかという点浄水を検討することによって、活動性評価の多分何らかの材料になる。
1:26:57	我々今材料になると思ってるから、返上専用ある程度検討が本資料で必要だと。
1:27:03	いうふうに言ったんすよ。あくまでこれ材料なんですよ。結論ではなくて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:14	電源開発高岡でございます。その点は、理解しております。
1:27:22	うん。そういったことで
1:27:25	どういったファクト事実関係でいつ形成されたかで、
1:27:32	科学的、物理的にどうか、そういったことも、
1:27:35	考えておりますので、
1:27:38	うん。
1:27:40	ちょっとその辺り、
1:27:41	そんなにずれてはないと思うんですけど、資料の書き方が、
1:27:47	かなりきつかって書いてる。すいません今、儀間です。永井ですが、今、何時とおっしゃった時点でずれてますよ。我々何時はいらないんですよ。
1:27:58	電源開発高岡です。だって、活動性評価というのは、指針基準に照らすと、後期更新世以降だから、
1:28:07	いつってというのが大事なファクターじゃないかと思えますけど、今清委員の話をしてる中で言ってるのでいつは関係ないという言い方をしたんですけども、成因の検討の中ではあくまでどういうプロセスがあったが、この変状が起きたかと。
1:28:21	そういうプロセスが起こるといことは何がきっかけになっているのか。
1:28:25	深部ではそれが起きてないから活動性が否定できますと。
1:28:29	というような説明が我々欲しいんですよ。
1:28:32	そのご趣旨は理解。
1:28:35	できる
1:28:35	繰り返します。
1:28:37	うん。理解されてるんだったら返上の製品の結論はこういう結論っていうのは、
1:28:41	私は、
1:28:42	本当に理解してるのって言いかえたくくなりますけどね。
1:28:52	ここに書いた心としては、
1:28:55	全員、
1:28:57	は審議対象じゃないけれども、ここの減少がどういうどうしてできたかというところで必要だということを言われていたので、
1:29:06	一番最後になお書きで書いたところですので、
1:29:10	今、岩田さん、ナガイさんとのやりとり踏まえて、
1:29:16	その辺りは再考いたします。
1:29:19	もう一つ追加で言いますけども3ページですね、(3) ページ下、括弧3ページのフローで、
1:29:25	変状の検討からね戻ってくる矢印がないっていうことはやっぱり御社の考えがここで終わっちゃってますよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:32	これは国家戻ってくる矢印があると思ってるので、
1:29:35	そこはまず、
1:29:36	確実にデータと思います。
1:29:38	私からはとりあえず以上です。
1:29:44	電源開発高岡です。ナガイさんのご意向は承知いたしました。(3) ページについてはこれに戻る矢印を記載するか何かしないかっていうのも、
1:29:55	我々は途中で議論はしてその結果、
1:29:59	現状は国をやるということで今こう記載したんですけど。
1:30:03	もう一度再考したいと思います。
1:31:38	すみません規制庁ナカムラですけども、話ちょっと話変わりますけどもヒアリング資料の誤りについてっていうのが今さっき、
1:31:47	説明があって、1 ページ目のところで①から④で説明があって、
1:31:53	ざっと簡単にしか説明なかったんですけど、基本的に、
1:32:00	測定値を誤って表示とかそういうところなんですけどね、例えば1 ページ2 ページのところであったそのS-11の赤いラインが違ふとかっていう説明が、
1:32:12	ありましたけど。
1:32:15	これって、
1:32:17	どうしてこういうことが起こってるのかっていうのを教えてもらいたいですけど、要するに何かっていうと、
1:32:23	S11の。
1:32:25	1人でこれ他の。
1:32:28	ポイント測定値の点があるとかないとかそういうのっていうのは、
1:32:35	なかなか見ても気づくっていうところは少ないと思うんですけど、こんなのS1と2ページとかのS11なんかこうパッと見たらすぐ分かるようなところだと思うんですけど、何でこういうところの、
1:32:47	間違っているのが起こってるのかっていうのが、今までもう3回か4回こういうことやってるわけですよ。で、
1:32:55	体制を見直すとかって言うけども全然変わっていないっていうところは何もあんまり変わっていないんじゃないのかなっていうのが正直な考えなんですけど、どうですか。
1:33:17	電源開発の川又です。
1:33:21	今ナカムラさんからご質問いただいた、
1:33:24	誤りの件で、特にこのCMS11、
1:33:28	表示の高さが違ってた。
1:33:30	ていうところに関しましては、
1:33:33	これは作業的な話で恐縮なんですけど、
1:33:36	エクセルで書いた図の上に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:39	. 0。
1:33:41	新村印を引いてまして、
1:33:44	だから、そのところで、このチームの、
1:33:47	深度の、
1:33:49	確認。
1:33:50	我々の中で、
1:33:53	きちんとチェックし切れなかった。
1:33:56	ていうところ。
1:33:58	だから、図を貼り付ける時にずれちゃった。
1:34:02	といいますか、そういう誤りになります。
1:34:07	当然そういうことだっていうことはわかるんですけども。
1:34:11	を見たらもう、何か、
1:34:15	引っ張ってきてる上の断面図のところとか見たら、
1:34:20	すぐ気づくようなところっていうところを考えると、
1:34:23	この、こういう作業自体を1人でやってて何かチェックするような体制になってないんじゃないのかなっていう。
1:34:30	本当にこれだけの、
1:34:32	このページだけの修正だけなの、他にももっとあるんじゃないのって思ってしまうんですけど。
1:34:38	というところですよ。
1:34:39	だから、
1:34:40	何かチェックしてんのかなっていうのを、そういうふうな目で疑ってみてしまうということです。
1:34:48	おっしゃることは理解できるんですが我々としても、常にチェック、
1:34:54	実施しております。
1:34:59	この部分については、事実として、
1:35:02	抜けていた。
1:35:04	というところでございます。
1:35:11	こちらの話が当然何度も修正を繰り返したりしたっていうの一員としては、
1:35:18	あると思いますので、
1:35:20	今回のことをきちんと受けとめてですね。
1:35:24	次回からこういう目でも、
1:35:27	チェック項目加えますので、
1:35:29	同じような過ちがないように、
1:35:31	対応していきたいと思います。
1:35:33	要するに、はっきり言うと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:37	早くヒアリングしてくれっていうようなお願いとかね。
1:35:41	盛んにされてるみたいですけど、何もチェックもしないでこういうのを出してる来てんじゃないのかなっていう、そういうふうになってしまうということですんで、それも今までに、今回初めてじゃなくて今までもう、
1:35:54	3、4回やってますよね。そうやって、
1:35:57	原発としてはこういう体制でやって、見直しをやって品種をやってって言うてるにもかかわらず起こってるっていうことは、
1:36:05	何かが、根本的な問題があるんじゃないかなと思ったからということですよ。これはもうあくまで私の個人の意見です。
1:36:15	電源開発高岡でございます。本当に大変申し訳ございません。そのように、言われてしまうなどというのは、
1:36:23	十分わかりますので、我々内部でももうすでに水平展開で他ないかって。
1:36:29	確認してて、それは本日ご説明したものでございますし、
1:36:33	今の仲村さんのご指摘、
1:36:36	全くその通りですので、もう一度、
1:36:40	チェック体制を見直してですね、心して、
1:36:44	うん。
1:36:44	誤りのないように対応していきたいと思います。大変申し訳ございません。
1:36:51	はい、ナカムラですけど、よろしくお願ひします。
1:37:03	あとすいません。今日ちょっと説明はなかったんですけども、後で考えていたのか、マスキングのところの考え方っていうので説明があったりしたんですけども。
1:37:14	これはやっぱりマスキングのところっていうのは、必要あるんですかっていうところで、
1:37:19	今までとかだったら
1:37:22	建屋の名称とかそういうのを記載しないで、図を作ったりして、できるだけマスキングっていうのを外そうという考えでやってたと思うんですけども。
1:37:34	やっぱり今回のその資料っていうのは、全部が全部私もチェックできてないですけど、
1:37:39	やっぱり建屋の名称とかっていうのが、説明上必要だから、
1:37:45	資料上に記入して、やっぱりそこでマスキングが必要なのか。
1:37:50	ていうことでよろしいですか。それと、今までそういうのってできるだけ少なくしてたと思うんですけど、今まで、
1:37:59	の会合資料とかとの整合性とかその辺は大丈夫ですか。
1:38:06	私からもその点ちょっと具体的に確認する、しておきたいところがあったと思う。せっかく話が出たんで言いますが、
1:38:13	今回のS11の説明で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:16	技術家庭周辺の拡大図が出てこず、これと似たような中身がある。前半の方には、全体の、
1:38:25	節分物。
1:38:27	これ何の差異があるのかっていうのはちょっとわからないんでそのあたりも含めて、例えば3-215ですね。
1:38:33	3-215等マッチングされているので細かいことは言いませんけども、
1:38:38	7全体の、
1:38:40	施設配置図というのは前半の方に確か入ってるはずですけども。
1:38:44	3-62ですね。
1:38:47	その、そっちがマスクングになって今言った様に115頭がマスクングにならない理由というのも、
1:38:52	我々の認識のために、
1:38:55	簡潔に説明していただけますか。
1:39:01	前回サンノミヤです。
1:39:03	まず、マスクング対象してる図面というのは、基本的にはこれまでから変更しておりません。今、
1:39:11	松木に移されてる、他の6-20、62ページが写ってますけども。
1:39:17	基本的にはここに写ってる類のもので、
1:39:19	やはり建屋名称等、
1:39:22	あと市もですね、ここに書いてある通り細かく、
1:39:26	より具体的にリアルに記載しております。というのが一つ。
1:39:30	で、
1:39:31	先ほど言った3-210、
1:39:34	5ページですか。
1:39:36	どこまで正確っていうのはあるかと思うんですけども、こういったように拡大ある程度することによって、
1:39:43	より正確性が落ちるといえるのか、このてるなら、対応はちょっと判断的なことも入るかとは思いますが。
1:39:51	基本的には、このような事例はOKということで、
1:39:54	マーキングをかけておりません。つまり、今、先ほどの、
1:40:00	さっきのページに戻してもらっていた。
1:40:05	60、
1:40:08	そうですね。この類っていうのはこれまでも進めさせていただきまして言った経緯もありますので、
1:40:13	基本的には、この図、このような配置の図については、マーキングさせていただいております。
1:40:19	あと、
1:40:21	やはりなるべくマスクングはしないという観点から、進入経路等はですね、なるべく映らないように、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:28	拡大して示すとかですね、そういったような工夫もして、基本的にはマスキングを減らすような努力はしております。ただ、この3-62ページについては、これまでも、
1:40:38	マスキングさせていただきますが、そういった縦配置とかそういった詳細がよりわかるということで、マスキングさせていただいているものです。以上です。
1:40:54	ナカムラですけどいいということはわかりましたけど、こちらの趣旨言ってる趣旨っていうのも、最後言ってもらったんで理解してると思えますけど、
1:41:04	最終的な判断は電発さんの判断でし考えてるっていうことで、言いたいことについては理解しました。ただ、
1:41:15	館野名称とか隠すことでですね、
1:41:19	隠す手が記載しないことで、
1:41:21	あらわせるような図とか、そういうものがあるのであれば、できるだけマスキングを少なくしたいっていうのがこちらの趣旨なので、そこは理解の上で資料を作成してください。
1:41:33	以上です。
1:41:35	はい。電源開発、サンノミヤです。以前からそういうようなことは、もちろん聞いておりますので、そういった努力を、
1:41:42	しておりますので、結果的に3-62ページ示してるもの用夏のみというふうには、今のところはしております。
1:41:51	以上。
1:42:39	はい。すみません後段部分はまだ説明をしてもらっていないんですけども、多分、
1:42:45	審査会合では、この前段部分に集中をしておりますね、全体構成とか、皆さんの物の考え方というのを議論させて、この資料を用いて議論させていただきたいと思っています。
1:42:56	その時に、この別で、別紙で配られているですね、変更箇所みたいな資料を使って説明するのはいかがでしょうかはお任せします。
1:43:05	あとはヒアリング資料の誤りみたいな話は、これ審査会合資料の誤りではないものですね、少しちょっとこれは扱い考えますけれども。
1:43:16	少し触れていただく必要はあろうかとは思っておりますので、そこはちょっと、
1:43:21	事務的に詰めた上でですね、ご相談をし、ご存知かですね、お願いをしたいと思います。
1:43:28	あと時期なんですけど、3月はですね、結構、ご存知の通りいろんな、
1:43:34	これ前回の別途の面談では、
1:43:39	困りますとは言われたものですね3.11の話があったり、
1:43:48	うちの国際会議もどきみたいなものがあって、会議室が使えない時期があるので、3月ちょっともしかしたら難しいかもしれませんので、4月の早いタイミングで設定書をしたいと思っております。そこはもう後は自動的に連絡させていただきます。私から以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:14	はい。電源開発高岡でございます。そうしましたら本日、ヒアリングのご説明ですとか、確認事項は以上でよろしいでしょうか。
1:44:25	はい。結構です。
1:44:31	そうですね。すみません岩田ですけども、説明時間だけ一応セットしていただけますか。
1:44:43	電源開発高岡でございます前回のコメントを受けて一通りご説明ということであると、パイポ 10 分ぐらい必要かなと思います。
1:45:25	わかりましたの全体もし説明するとすると 50 分ということですねあと審査が介護で何を説明してもらうかというのはですね、すみませんすぐ今決めきれないので、もう少し我々の中でも議論をした上でですね。
1:45:36	この部分についてというのは別途ご連絡をさせていただきます。
1:45:42	はい。電源開発高岡です。はい、承知いたしました。よろしく申し上げます。
1:45:51	規制庁ナカムラですけども、すみません。ちょっと参考に聞かしてください。もし 50 分を説明するとなると、
1:45:59	今どのページを説明するっていうようなことをイメージしてるっていうのを、
1:46:04	目次かなんかでちょっとだけ教えといてもらえます。
1:46:19	ローマ数字の 4 ページですかね、のところが、要するに頭の、最初の両括弧の 1 とか 13 とかその辺と、
1:46:30	青で囲まれたところだけを説明して 50 分というような感じですかね。
1:46:37	電源開発高岡でございます。括弧つきの 3 ページがわかりやすいかなと思いますんで。
1:46:48	今回、コメント回答ですので、ここに括弧 3 ページに黄色い。
1:46:54	収拾がついてると思うんですね。一番上から S 245 から、
1:47:00	概ね、
1:47:03	144 から 149 ですのでここに、
1:47:08	このこうなんていうかな、黄色いマークがついてる辺りです。当然コメントの濃淡があるかと思うんで、全部べたではご説明することにはならないと思います。
1:47:19	それだと石渡委員のコメント等で、そこが一部入ってくるかと思えます。
1:47:26	はい。大体わかりました。
1:47:40	こちらから以上ですが。
1:47:46	はい。そうしましたら、ヒアリングで、規制庁さんの、
1:47:50	事実確認以上ということですので、
1:47:54	そうしましたらですねまた確認事項のホワイトボードはまた後程お送りいたします。
1:48:02	はい。よろしく願いいたします。本日のヒアリングは以上にしたいと思えますお疲れ様でした。
1:48:07	はい、ありがとうございました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。